

# 様々な学習支援の方法

城間祥子・庭崎隆・山内一祥  
(愛媛大学 教育・学生支援機構)



## 学 習 内 容

1. 学習支援の枠組み整理
2. 愛媛大学における学習支援の事例
  - ① リメディアル教育
  - ② スタディ・ヘルプ・デスク(SHD)
3. 参加者間での取り組み事例の共有



## 学 習 目 標

1. 多様な方法で学習支援に取り組むことができることを理解する。
2. 各大学等で行われている学習支援の事例を共有する。
3. 学習支援の取り組みを充実させるためのアクションプランを作成する。

## 1. 学習支援の枠組み整理

## 1-1. 学習支援とは

- Forest and Kinser (2002).
- **Academic support** encompasses campus programs and services
  - that assist faculty in their teaching and research and  
(教育と研究に関する教員支援)
  - that assist students in improving the quality of their academic experiences.  
(アカデミックな経験の質を向上させる学生支援)



## 1-2. 米国における学習支援

### プログラム・サービスの例

- アカデミック・アドバイス(履修指導)
- キャリア支援
- コンピュータ・リテラシー教育
- 文献読解・数学・文章作成・スタディスキルの支援
- 初年次生・編入生に対するオリエンテーション
- スタディ・スキル授業
- 補習
- テスト(TOEFL等)
- チューター制度
- 特別支援

### 担当組織の例

- Academic Resource Center
- Academic Support Center
- Center for Academic Program Support
- Learning Assistance Center
- Learning Support Center
- Reading and Study Skills Center
- Tutorial Center
- Writing Center

Forest and Kinser (2002)



## 1-3. 学習支援の種類

1. 学習内容に関するもの
2. 学習方法に関するもの
3. 学習環境整備
4. 学生生活に関するもの
5. 障害学生の支援

### 1-3-1. 学習内容に関するもの

- 学習サポートセンター  
チューター制度
  - 授業についていけない学生に、教員や大学院生などが個別に学習指導を行う
- オフィス・アワー
  - アポなしで教員を訪ね、授業の内容について質問することができる
- リメディアル教育
  - 大学教育を受けるにあたって不足している基礎学力を補うために行われる教育

## 1-3-2. 学習方法に関するもの

- スタディ・スキル教育
  - 大学での学び方を学ぶ
    - ノートの取り方
    - レポートの書き方
    - プレゼンの仕方
- 情報リテラシー教育
  - 学習や研究に必要な情報の取り扱い方を学ぶ
    - 情報の検索、整理、利用の仕方

## 1-3-3. 学習環境整備

- 自習室
- グループ学習室
- ラーニング・コモンズ
  - コモンズとは、「共有資源」、「公共の場」
    - 情報検索、学習指導、グループ学習などが可能
- E-learning環境
  - LMS (Learning Management System) 
    - 受講生向けにインターネット環境で提供
      - 授業の資料の配布・閲覧、コミュニケーション、小テスト
  - オープンコースウェア
    - 講義ビデオと関連資料をインターネット上で公開

## 1-3-4. 学生生活に関するもの

- 出席管理
  - 欠席の多い学生への電話連絡
  - 支援の必要な学生の早期発見
- 履修指導
- キャリア教育
- 学生相談
- 健康管理

## 1-3-5. 障害学生の支援

- 聴覚障害学生
  - ノートテイク支援
  - 手話通訳
- 視覚障害学生
  - 点字教材
  - 拡大文字
- 運動障害学生
  - 教室へのアクセス
- 発達障害学生



愛媛大学FDハンドブック(3)  
学生生活担当教員の手引き  
Pp.55-61

## 1-4. 時期に応じた学習支援

- 新入学期
- 1年次後期
- 2年次前期
- 2年次後期
- 3年次前期
- 3年次後期
- 4年次前期
- 4年次後期



愛媛大学FDハンドブック(3)  
学生生活担当教員の手引き  
Pp.1-17

## 1-5. 学習支援の担い手

- 教員
  - 授業担当教員
  - 学生生活担当教員
- 職員
  - 学生支援課、就職支援課
  - 学生支援センター
- 大学院生
  - ティーチング・アシスタント
- 学部生
  - スチューデント・アシスタント
  - スチューデント・キャンパス・ボランティア

## 1-6. 単位の実質化

- **1単位=45時間分**の学修を必要とする内容

- 講義・演習の場合

- 授業時間内に、15～30時間の学修

- 実験・実習・実技の場合

- 授業時間内に、30～45時間の学修

授業内	授業外	合計
15時間	30時間	45時間
30時間	15時間	45時間
45時間	0時間	45時間

## 2. 愛媛大学における 学習支援の事例

- ① リメディアル教育
- ② スタディ・ヘルプ・デスク(SHD)

### 3. 参加者間での 取り組み事例の共有



#### 3-1. グループディスカッション

- 役割分担
  - 司会、書記、報告者
- 自己紹介
  - ご所属、お名前
  - 今回セミナーに参加した理由
- 自校で行われている学習支援の紹介
- 今後取り入れていきたい学習支援



## 3-2. 全体での共有

- グループでの議論の内容を報告して下さい。
  - グループメンバーの所属(大学・短大・高専・・・)
  - 現在行っている学習支援
  - 今後取り入れていきたい学習支援

## 学 習 目 標

1. 多様な方法で学習支援に取り組むことができることを理解する。
2. 各大学等で行われている学習支援の事例を共有する。
3. 学習支援の取り組みを充実させるためのアクションプランを作成する。

## 引用文献

- Forest, James JF. & Kinser, Kevin (2002) Higher Education in the United States: an encyclopedia, Santa Barbara: ABC-CLI
- 愛媛大学FDハンドブック「もっと!!学生を元気にするために」 vol.1~3

## FDハンドブック 「もっと!!学生を元気にするために」



- 教育企画室のHPからダウンロードできます  
[http://web.opar.ehime-u.ac.jp/publishment\\_hdbook.htm](http://web.opar.ehime-u.ac.jp/publishment_hdbook.htm)